

第2版はじめに

本書の初版が刊行されてから4年が経過し、この度、第2版を刊行することになった。本書は刊行以来、共著者の勤務校の他にもいくつかの大学で法思想史の教科書として採用いただいていると伝え聞いている。また、大学の先生方や受講生からも温かいお言葉をいただいた。ご厚誼に感謝するとともに、よりよい教科書になるよう、主に次の諸点について追加、修正などを行った。

本書は「初版はじめに」で記したように、法思想史全体の流れを理解してもらうため、自然法思想・自然権思想を軸に、古代ギリシアから20世紀前半のアメリカに至る法思想を整理している。特に初学者の学習にとっては有用な構成であると考えているが、この度の改訂では、コラムや記述を追加するなどして、政治思想史などの分野で研究が進んでいる「共和主義」に関する記述を厚くし、より多角的な理解も可能になるよう工夫した。

また、説明が不十分であったと思われるところについて、コラムを追加したり、記述を厚くしたりしている。この4年間で、本書で扱っている法思想の研究にも大幅な進展があり、本文の記述や参考文献などのアップデートも行った。さらに、クロス・リファレンスでは、より細かく参照先を示すようにしている。

初版に続いて、法律文化社編集部の舟木和久さんには大変お世話になった。舟木さんには、改訂のポイントについても的確なご指摘をいただくとともに、刊行に至るまで終始、迅速で丁寧なご対応をいただいた。記して感謝申し上げたい。

2024年5月8日

共著者を代表して

戒能 通弘